

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束防止委員会のへの参加職員を増やし、拘束についての意識向上に期待する。	職員の身体拘束についての意識を高める	身体拘束防止委員会の開催時は、極力委員会メンバー以外のスタッフ全員が参加するよう周知する。 また、身体拘束防止委員会だけでなく、日々のスタッフ間の申し送りや連絡メモでの通達にて、利用者様のADLの変化を共有し、早期にケア対策を行い転倒リスクを軽減するとともに、身体拘束をしないケア実践に努める。	6ヶ月
2	26(10)	より具体的なニーズをとらえ支援内容もより具体的な内容にされることを期待する。	利用者ニーズ中心のプラン目標を設定し、個別ケアを重視した具体的な支援プランにする	体調管理のバイタル測定や体重測定は当然行うため、特段の持病等で管理を要する場合を除いて、ケアプラン上には記載しないこととする。 その分、日頃の利用者様の「食べたい」「出かけたたい」「家族へ伝えたい」等の想いをスタッフが傾聴し記録に残していき、カンファレンスにて想いをどのように実現するか検討のうえ、ケアプランへフィードバックする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。